

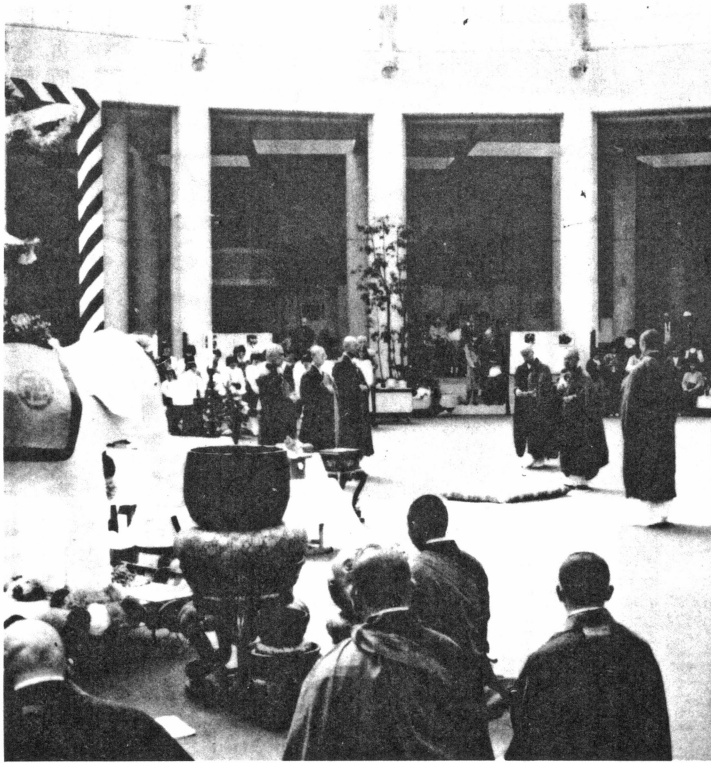


発行所
曹洞宗青年会
〒105 東京都港区芝
2-5-2 曹洞宗宗務所内
発行責任者 吉岡輝彰
TEL.03-454-54110

青年宗侶のエネルギーを結集しよう
社会的価値ある活動をしよう
青年宗侶の自覚を促そう
地域における活動の連携を深めよう

曹洞宗青年会
東海大会

釈尊降誕を祝って 華やかに開催

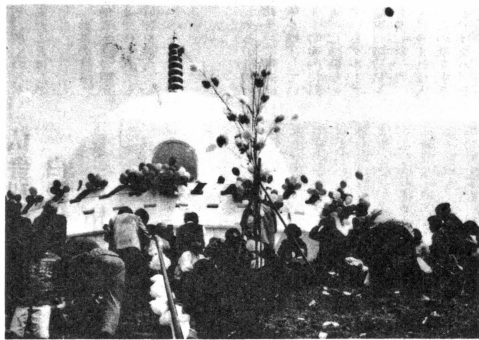


次	曹洞宗青年会・東海大会……………	2
	四国大会を振り返って……………	3
	青少年の非行と家庭の問題について……………	4
	此寺に和尚あり……………	6
目	インタビュー・平沢 興先生……………	7

四月二日三日の両日、全曹青の第七回曹洞宗青年会、東海曹青の第九回大会に併せて開催された。

今回は『花まつり』をメインテーマとしたため、宗門行事に止まらず各派の協力を得られ一層華やかな内容となった。特に開催の静岡袋井・掛川の地区ではこの日にあわせて仏舍利塔も建設開眼され稚児白象の行列奉納も加わり多くの市民の関心を得た。会場となった掛川生涯学習センターはコンサート会場はもとより、講演会場、多目的大ホールと充分な設備を有していたが、誰もが灌仏できるように工夫した『花御堂』、開催地静岡の特色を生かした『お茶』『生花』、更に単に開設しての坐禪指導、釈尊の生涯、僧堂の生活紹介と充実した内容が繰り広げられ参加者を知らず知らずと仏教の世界に引き入れていた。

仏舍利塔も開眼



破草鞋

◎四月二十日号の「週刊読者の表紙」は、お寺さんのこの頭落、とあった。「あの読者が……」と、思いつつも怖いもの見たさで買求めた。内容は例によって京都古

都税問題から始まっているが、と最後まで読めなかった。タイトルも目次からは、はきりと「破草鞋」に驚いているのだ。
◎週刊誌が取りあげるのも無理はない。最近、僧侶の在り方を問われるような事件が多岐に「坊主」という言葉も随分見かけるようになった。
◎「坊主」という言葉は本来、放逐禁止用語である。私事だが、子どもの頃「坊主、坊主」と呼ばれて悲しくて泣いたことがある。出家の師僧は「坊主が坊主と呼ばれて何を悲しんでいる」と叱って励ましてくれたが「坊主」と呼ばれた時には、蔑視を感じずにはいられなかった。
◎私は「精一杯、僧侶の仕事をしたい」と思っている。民衆のために活動したいと願っている。それには僧侶の活動を見せなければと思っ、青年会にも参加した。しかし、この社会は複雑すぎるのだから。私の願いは往々にして挫折感を味わう。それも同じ僧侶による時は悲しみも大きい。
◎私にも子どもが三人いる。三人とも僧侶の活動をして欲しいと願っている。今は喜んで衣を着て手伝いもする。しかし、連日のように「坊主、坊主」と言われたら、はたしてどうなるか。
◎全国の若き宗侶の皆さん。自分の子どもが「お父さんのように坊主を」と言ってくるように、ようにお互いに威儀を正して頑張ろうではないか。

第七回 禅文化学林 第九回 東海曹青大会

南こうせつ

「花まつり」を謳う

「花まつり」は言葉の響きにも春を感じさせ仏教徒にとっては最大の慶祝行事となっている。今回の禅文化学林は東海曹青大会(小原智会会長)に併せて開かれ、宗門出身のシガー南こうせつ氏を招き、開催地元静岡興第三同志会会長今川龍徳氏を実行委員長として磯山土色も加わり充実した内容となつて、南こうせつ氏のポスターだけで来場した人にもはしゃぎ広げられる事が新鮮に映り、会場各地で賞讃の轟きとなつた。



講演会で開会
受付、開講法要式にづき可睡斎主鈴木泰山老師による「禅宗の地方発展」と題した講演によって実質的に禅文化学林は幕を開くことになった。
鈴木泰山老師は愛知大学等で史学の教授を歴任されるから可睡斎講師等もお勧めになった老宿で若き宗匠に宗門の流れを言葉に話された。特に浜松の普濟寺を中心とした寒厳禪師門下の流れには時間をさき、東海という地方の特異性を



交えられたの聞く者に親しい内容となつた。また、それぞれの祖師の行履に話及ぶと現代からはとても想像できないことばかりで聞く者をして震撼せしめた。宗門は時代を経るにつれ本末関係をおぼろげに話す人はなくなくなつてきた。しかし、法の流れを学ぶなかでそれらの祖師の伝法のある方を知り、慕うことは大切なことである。この講演の中でも思わぬ人と法類であったことを知り、互いに顔を見合わせるなどいつまでも尽きぬ内容であった。

マルチ会場をフルに活用
「花まつり」会場掛川生涯学習センターは多目的大ホールに象徴されるように市民のフル活用を願って設計された施設である。
この多目的大ホールは円形の大ホールで陽光はさんさんとしている。これが蓮仏会場と決定してから設定担当者は随分苦労したところであったが、行進してきた白象を先頭に市民もスムーズに入場し、荘厳な会場となった。中でも清々と流れる釈尊賛嘆の二詠歌、朗々と響く歌仏の声、献灯花香する子どもすがすがし、宗伯の一つ一つの動きまでもが法要とあまり縁のない市民にも新鮮に映り拍手まで聞こえた。日頃、法要を行

る者にも明るい日ざしの下、多くの人々とともに釈尊の誕生を祝えたことはこの上ない喜びであった。
マルチ会場を利用した「お茶の接待」「釈尊一代記の掲示」「禅堂生活の紹介」「生花展示」に加え、単で作られてしばし禅境を味わう人々で好評を得た。
酒井大岳師
釈尊一代記を熱演
「釈尊の生涯をお話しするのは初めてです」という言葉で始まった講演は柔らかな口調でも聴衆を魅了していた。特に今回はコンサートの案内に引かれて来場したグループと、詠歌などで日頃から仏教に親しんでいるグループが混在しているだけに設定者は随分気を配つたといふことだが、杞憂に終わった。日頃、経典する出来事も注意すれば大切なヒントを与えている。この世を生きておはそれほど難しいことではない。と話されるなかにもユーモアをはさみ巧みに人間釈尊のご生涯を展開された。
なお、この講演にあたり、絵伝説(鈴木出版)が利用されたが、講師はわざわざ稿を起して解説される程の熱演であった。

仏舎利塔落慶法要 白象行進に 市民の拍手

遠州平和塔と名づけられた仏舎利塔の落慶法要がこの朝、厳粛に開かれた。
この平和塔はすでに昭和五十年より工事もすすまれていたが、今回の「花まつり」に合わせて完工となつて、いよいよ宗派を越えて多くの人々がこの法要に参加した。なかでも梅花講の講員と日本各地で仏舎利塔の建立を計っている日本山妙法寺の僧侶・信者の唱題打鼓の姿が目をつけた。好天にも恵まれこの日は幼稚園児の鼓笛隊も繰り出し市民あげての法要となった。
この塔の管理維持には奉賛会・事務局・可睡斎内」が作られ運営にあたることとなっている。静岡の新名所になることを祈つてやまない。
白象の行進が市内二所から一斉に「花まつり」会場に向って出発したが、かわいげのない行列に日本山妙法寺の法鼓が加わり道沿に飛び出す市民も暖かい拍手が沸いた。
白象は到着するやただちに会場正面に飾られたが、その場に誕生と白象の解説

南こうせつ コンサート会場は満員

全部で何曲であったろうか。「会場によって雰囲気や歌うから何を歌うか……きめられない……特に曲順は……」という説明にプログラム作成者は困惑したというが、恐らく二十曲ばかりではあるまい。実に愉快にユーモアを交え会場を盛り上げていく。
「手拍子なんて恥かしくて」と思っていたのにいつの間にか手を打っている。気がつけば立ち上っている者もいる。懐かしい歌から最新の歌まで、パレードがあればロックありで舞台様の大活躍。時々「僕もお寺の子」と泣かせる台詞まで飛び出でては拍手一杯。アンコールも出て楽しい会場であった。



「この日、会場には曹洞宗若ランティア会から松永会長はじめ吉川事務局次長も難民救済の資料を携えて参加していた。曹洞宗によって始められた救済の会は世界の国々からその活動を賞賛されている。しかし、他方、難民問題は解決したとして活動を打ち消そうとする動きも出てきた。
「弊宗日本国を除くほとんどの難民が隠れているが真剣に考えて欲しい」という松永会長の言葉は多くの人の心に響いた。
静岡第三同志会によって展開されたこの会は多くの一般参加者に釈尊誕生の意義を知らしめた。また、地元可睡斎主老師はじめ、仏教会を挙げての応援は青年宗侶を大いに鼓舞した。この点は今後の活動に大きなヒントを与えたいと思える。
さらに、地元コーラスの参加にも象徴されるように、仏舎利塔建立に加えて多くの市民が参加していたこと日頃の青年宗侶の活動を全うする前会長の桜井孝順師の心からのご協力があつたことも感謝したい。



各地で大会始まる

近畿は早くもソフトボール大会

新年度を迎え管区協議会単位の大会も始まった。
先陣を切るのは
六月五・六日の近畿曹青（祐川猶善会長）
城崎で開催するが、担当は兵庫県但馬曹青。今回は親善ソフトボールが中心となる。東海曹青からの出場も予定されている。
六月十八日
九州曹青（須川法昭会長）大会を開く。昨年に引き続き福岡市で開催。今回の開催当番は地元福岡曹青（赤染善彦会長）。講師は、新日鉄クラブ部
元監督 森 重隆氏
を予定し百人以上の参加を見込んでいる。

九州曹青

長崎曹青（塩屋秀見会長）

団体加入を決定！

九州にあって積極的に活動が続いている長崎曹青の団体加入が決った。今後の活躍が期待される。

熊本曹青（紫安達純会長）

会員間の連絡を密にししようと会報を発行しているが、今回第1号を発刊した。六月の中国研修も好評とのこと。

東海曹青

去る五月九日連絡協議会を開催し先に



というべきものであります。従って賛助会員諸師には、後輩に期待されることと大の大会でした。
第二回大会は、今治市大雄寺会場で、五月十九日、二十日、二十一日、四十余名の参加を得て開催した。
第三回大会は、諸般の事情で、日程等

四国大会を振り返って

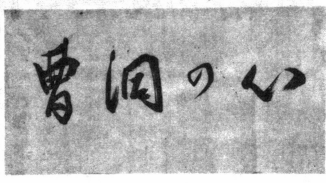
四国曹青会長

村上 徳 存

南海四国も例年になく寒波が続いた。二月二十二日、二十三日、四国曹青会員は同会相求め、同志相集うて、第三回四国地区曹青地方大会及び六十年年度曹青後継者の集い研究会「食」をテーマに、「食と体」について研修しました。
四国曹青は五十八年十一月十九日、内子町高昌寺、高木武彦師を会長に、会員三十九名、賛助会員三十二名、松山市に於いての結成大会を以て発足しました。しかし、これは大卒を以て二十数年前、現宗講興雲寺住持逸雄老師、第一教区長大雄寺海頭広文老師等先導にて、吾れら学生あがりの若輩を指導して、青年会として活躍されたのであって、再出発

大幅に遅延、厳寒の中の大会となったのであるが、事務局局長清水昭信師他役員諸兄の折衝を画にて、新居浜市瑞応寺専門僧堂を会場に御願いし、如法の行事による「食」の参考となった。
一般講師には、愛媛十全病院小川内科部長による「食と体」をテーマに現代人は飽食の時代と、医療の立場より「食と

は玄米食、薬石五分づきの麦入り飯、粥、典座食による精選食と、如法に行事が行なわれていて、テーマである「食」については、実地の参考となったのである。開枕前、僧堂の御許しを得て、懇親会、平素、見えるを見、聞かざるを聞き、見聞新たにした次第である。
翌朝、晩天より如法行事。堂長老師



一部 1,000円

問い合せ
三重県度会郡度会町麻加江
慶林寺内 佐藤和二

北海道曹青
六月十日札幌にて中央寺にて総会を開催する。
四国曹青（村上徳存会長）
十一月十九・三十日に大会を決定
五月二十三日松山で協議会を開き、今年度の大会を検討。高知市にて開催する。

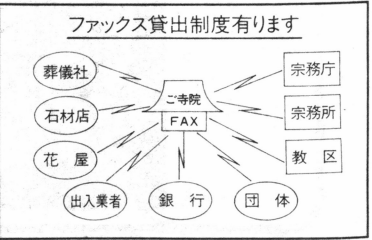
成功した「花まつり」行事の報告をした。また、新しく東海曹青会長に今川耀詮師、理事に矢部啓出師を選出した。今年度大会は岐阜曹青 岩水竜峰会長の担当も決った。
愛知第三曹青（森 孝道会長）
バスセミナーを開催
昨年好評であった筑波万博セミナーを引き継ぎ東京デズニランドを含めた子ども禅の集いを開催する。
三重曹青（日山俊雄会長）
カレンダー作製を計画
昨年、好評であった「禅僧の墨跡カレンダー」を今年も作製する。

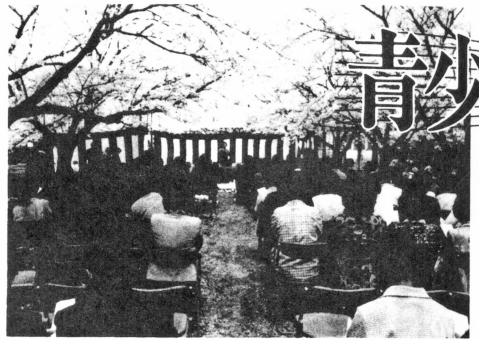
現在預貯金金利は戦後最低です。
資産運用のお手伝い (積立、貯蓄型損保)
ビッグな満期返礼金+配当金

- 今、注目の財テク、節税商品(税金面でも安心です)
寺院及び個人財産形成にお役立て下さい。
- 寺院専従者、幼稚園、保育園の従業員への「福利厚生退職金制度」
(積立機能) (補償機能) (貸付機能)

退職金制度の確立+従業員災害見舞金制度+小口融資制度
※境内管理の為の施設賠償保険もご利用下さい。
境内における参詣者、子供への不慮の事故や物損に対する保証

寺院運営のお手伝い(設備、不動産他)
現代寺院サービス
(現代保険サービス)大蔵省登録No.052400303
〒160 東京都新宿区高田馬場3-33-5大野ビル2階
電話 03-360-7081(代)





花見会 父兄も参加して楽しい一時を過ごす

研修

詩偈と禪 山口晴通 (四)

詩であるからには、当然、韻を踏むこととなる。漢詩では「押韻」という。今回は、「押韻」の原理とその種類について述べることにする。

旅船の寒灯独り眠らず
客心何事転凄然
故郷今夜思千里
霜鬓明朝又一年

江楓漁火对愁眠
姑苏城外寒山寺
夜半钟声到客船
夜半钟声到客船

月落烏啼霜满天
江楓漁火对愁眠
姑苏城外寒山寺
夜半钟声到客船

此の間房を借る恰も一
眠然年天船 禅 綠 鴨

右の四首の起句、承句、結句の第七字目○印の箇所が「押韻」の箇所である。

Table with 5 main sections: 1. 非行名別人員 (Delinquency by name), 2. 保護状況 (Protection status), 3. 薬物経験者 (Drug experience), 4. 不良集団関係者 (Bad group related), 5. 家庭内暴力・学校内暴力の有無 (Presence of violence at home/school). Each section contains a table with columns for '中等' (Middle), '特別' (Special), and '計' (Total).

嶺雲漢月伴枯禅
明朝欲下鞍前路
又向何山石上眠
又何れの山の石上に向かつて眠らん

憶得三生石上縁
一庵風雨夜無眠
今朝更下山路
今朝更下山路

老樹雲深杜鵑啼
老樹雲深杜鵑啼
老樹雲深杜鵑啼
老樹雲深杜鵑啼

右の四首の起句、承句、結句の第七字目○印の箇所が「押韻」の箇所である。

眠然年天船 禅 綠 鴨

下平 一先 二蕭 三肴 四豪 五歌

所屬しているのであらうか。漢和辞典をみると、右の各字の下に、まず「○」のような印がある。これは平字であることを示している。そして更に、「○」という字に気がつく苦である。これは平韻の中でも「先」の韻を表現している。これを「下平の「先」と呼称している。

このように三十種類が、度々羅列される。見、非常に煩雑に思われるかも知れないが、全部の韻字が平均的に使用されるものではない。上平「一先」と下平「先」の韻は圧倒的に多く使用される。反対に上平では三下平「十三覃」「十四侵」「十五咸」などは韻字そのもの数も少なく、したがって韻字も僅少である。「曹洞宗近代香語集」も点検したところ、上平「一先」は、多量の韻字を使用するといふ。勿論、研究課題としては平韻三十種について、各韻による試作することも肝要である。なお、上の分類により、現在使用されているものを「平水韻」といふ。

「面」で愛語を聞くのは、面を空しめ心を楽くして。面わずして愛語を聞くは肝に銘じ魂に銘ず、愛語よく廻天の力あることを、学すべきなり」

筆者紹介



小泉智謙
大正十五年五月生(六〇歳)
昭和〇年十月 海軍兵学校卒業
昭和四年三月 海軍文学部
昭和五年三月 法務府教官任命
昭和三年四月 少年鑑別所嘱託課長
昭和三年四月 少年鑑別所嘱託課長
その後、少年院教務課長、矯正管区教育課長を歴任し、昭和五〇年四月、美保少年院長に昇任、その後、沖繩少年院長、松山少年院長、人吉児童院院長、最後に愛知少年院長を務め、本年三月末日退職。

流し燈籠 水に溶け、無毒・無害で汚染なし!!
◆特長◆
●流し燈籠の素材は、すべて水に溶解します。
●約30分～1時間位水面に浮かせ、その後3時間程度で完全に溶解します。
●無毒・無害であり、溶解後も河川を汚染しません。
●回収の必要がまったくありません。
株式会社 光和
〒251 神奈川県横浜市磯区元町2-20-17
TEL 0466(33)6301(代表)
(36)4111(直通)

人物紹介 此寺に和尚あり

神奈川県 玄倉寺住職 高田良一師

広島県 長福寺住職 家谷光現師

高田良一 誠実な男である。正直な男である。駒沢大学時代は、よく遊びよく遊ぶ、ととにかくよく遊んだらしい。檀家はもとより近所の人々は如意山の小天狗として顔をしかめる位の暴れん坊であった。又、大のスピード狂で、又、学と富士スピードウェイを往復し、卒業後の一年間もお遊びの暇がある時、無性にある虚しさ襲われた。それまで坊さんになろうとは、本人はもとより周りの誰一人も思っていないなかつた聞き及ぶ。しかし法縁というものは不思議なもの、まして面識があつた

道心堅固、そしてとにかく器用な人である。弁舌よわか、痛いことも又バリー、人をとらささない。とりわけ精進料理と版面の腕前は全県下宗侶の認めるところであり、ご数年のお授戒会では当夜典座で曹青若手として一手に引き受け、戒成成、皆其威神力を發揮した。去る三月十三日より厳修された兄弟子で四国曹青会長村上道存師の戒会においても当夜で、本人としてはそろそろ後進に譲りたい、と氣持でいるらしいが、さ

現在には広島曹青の会長を勤めておられ、九才、四十一年駒沢大学入學、永平寺を修行後、五十年の尾道水道沿いの向島長福寺住職となるまで瑞應寺僧堂役として雲納と起居を共にした。この時の修行は今も語り草となっているが、中でも臘八、涅槃餅心においては、応、開杖振鈴の差定はあるものの道友とともに不睡不休の修行をした。

師の参禅への道心は現行の「縁際禪の」ではない末寺の私のもの(へ来山し、「これから先どうしたらよいか」との質問。永平寺から帰られたの、坊さんの意氣に燃え盛つていた私は、その場で役の頭を丸めて座した。数ヶ月後、再度来て「永平寺へ行きたい」と言う。上山の準備にとりかたり、そして永平寺の粥を一年間いただき、そして小天狗は帰ってきた。

がんばってます



神奈川の小天狗

「水平寺といふ所はずいといとろだ。生まれこゝつた良一和尚を見た人々々の驚きである。驚まじめさと実直さが今では身上となっている彼は向う上心という点で、卓越している。決して声も話し方も勝れているとはいへないが、日々の努力の結果、ご詠歌をもにし、かつ檀信徒の心もすっかりつかんできました。坐禅をしない禪宗坊主は、念仏を唱えない淨土宗の坊主のようなものだ」と話

天下の



名物和尚です

「お坊さんでうしてお寺に住んでるの?」「法華ってなあに?」「子どもに聞かれたら何と答えますか。相手にあわせて、家とも思えば益々難しくなっています。また、この質問が、大人から出たとしても的確に答えられるでしょうか。」

「水平寺から帰られたの、坊さんの意氣に燃え盛つていた私は、その場で役の頭を丸めて座した。数ヶ月後、再度来て「永平寺へ行きたい」と言う。上山の準備にとりかたり、そして永平寺の粥を一年間いただき、そして小天狗は帰ってきた。」

「お坊さんでうしてお寺に住んでるの?」「法華ってなあに?」「子どもに聞かれたら何と答えますか。相手にあわせて、家とも思えば益々難しくなっています。また、この質問が、大人から出たとしても的確に答えられるでしょうか。」

「お坊さんでうしてお寺に住んでるの?」「法華ってなあに?」「子どもに聞かれたら何と答えますか。相手にあわせて、家とも思えば益々難しくなっています。また、この質問が、大人から出たとしても的確に答えられるでしょうか。」

子どもの疑問に答える
無着成恭 編著
土村映雄 編者

図書出版 新製品紹介

子どもの思わぬ質問に現代仏教の側面があります。なお、姉妹書として「ものしり辞典」無着成恭著も同じ出版社から刊行されている。

チャイルド社
東京都文京区小石川五、四一〇二
単価 一〇〇円
新書判

岩手曹青 10周年記念出版 精進料理

昨年、十周年を迎えた岩手曹青の記念出版であるが、好評につき県外にも販売していくことになった。内容は曹青大のカラー写真を使い、料理は本膳料理を七枚にわけ、解説、さらに四季の料理(四品)に一品料理の酢のもの、焼きもの、揚げもの、炒めもの、和えものとそれぞれ二品つづき紹介し、合計二十四組組み合せ成している。カラー写真のため、色あいもよく理解できる。また、表面には料理の作り方はもとより、細かい注意に加え、材料の解説もあて参考になる。

寺には精進料理がつきものであるが、昨今はなかなか難しくなっている。まず楽しんでみるのもよい。

岩手曹青元副会長は現任は大本山総持寺典座を勤められている、東松寺住職千田実道師が監修され、指導されている。

上製の箱に入っているため、贈答用としても利用できる。

申し込み先
〒〇二八、〇五
岩手県遠野市新町六十二九
柳女寺内
岩手曹青 事務局
豪華箱入り 送料実費

子どもの疑問に答える
無着成恭 編著
土村映雄 編者

図書出版 新製品紹介

子どもの思わぬ質問に現代仏教の側面があります。なお、姉妹書として「ものしり辞典」無着成恭著も同じ出版社から刊行されている。

チャイルド社
東京都文京区小石川五、四一〇二
単価 一〇〇円
新書判

岩手曹青 10周年記念出版 精進料理

昨年、十周年を迎えた岩手曹青の記念出版であるが、好評につき県外にも販売していくことになった。内容は曹青大のカラー写真を使い、料理は本膳料理を七枚にわけ、解説、さらに四季の料理(四品)に一品料理の酢のもの、焼きもの、揚げもの、炒めもの、和えものとそれぞれ二品つづき紹介し、合計二十四組組み合せ成している。カラー写真のため、色あいもよく理解できる。また、表面には料理の作り方はもとより、細かい注意に加え、材料の解説もあて参考になる。

寺には精進料理がつきものであるが、昨今はなかなか難しくなっている。まず楽しんでみるのもよい。

岩手曹青元副会長は現任は大本山総持寺典座を勤められている、東松寺住職千田実道師が監修され、指導されている。

上製の箱に入っているため、贈答用としても利用できる。

申し込み先
〒〇二八、〇五
岩手県遠野市新町六十二九
柳女寺内
岩手曹青 事務局
豪華箱入り 送料実費

三笠會館

三笠會館

本 店 〒104 東京都中央区銀座5-5-17 三本通り TEL 03(571)8181 (大代)

本 店 〒104 東京都中央区銀座4-2-15 西銀座テアト2F TEL 03(566)4031

本店 本 店 〒104 東京都中央区銀座5-12-8 本州製菓ビル8F TEL 03(541)3505

本店 本 店 〒104 東京都中央区銀座5-12-6 足立錦華ビル1、2F TEL 03(543)3621

向 島 店 〒131 東京都墨田区 墨田1-4-54 白鶴會館内 TEL 03(610)0078

新 宿 店 〒160 東京都新宿区新宿3-15-17 伊勢丹會館2F TEL 03(354)1729

磯 子 店 〒251 神奈川県藤沢市 磯子海岸1-11-23 TEL 0466(34)5851

花 子 店 〒104 中央区銀座4-2-1 西銀座テアトB1 TEL 03(566)4102

ウルテスハ 〒156 世田谷区玉川13-17-1 玉川高島屋SC南館6F TEL 03(709)1278

A restaurant feel at ease

散歩道

京都大学元総長
平沢 興先生

「人間、無限の可能性をもつ不思議な生物」

八十五才になられた今も、四脚起床の学生生活を続けられ、人間を説く学者として知られている平沢先生。門下生はもとより、かつての学生運動の闘士までもが人柄を慕って回遊者に招くところ。今日は先生の人生の発想について語っていただいた。

「医学の道をすすまれたわけは？」

人間というものについて学びたくて私は医学の道を選びました。今、医学を学んで、大きく三つあります。一つは、医学が人を助けること。二つは、人間に生まれること。三つは、無限の可能性を与えられていること。そして健康なことです。

「先生にとって人間は？」

人間には不思議な生物です。学ばば学ばば感動します。人は誰もが三十数億年の歴史を背負っています。そして、一人は五十兆もの細胞生命で構成されています。この世界がたった五十億の人口なのに、いつもおさわわさわしていることを考えれば、五十兆が平和でいられるなんて奇



跡ですね。

内臓器官にしても、自分で動きを命令したわけではないのに、ちゃんと動いています。筋肉もそうです。現象としての説明はできていても何故かというところはわかっていないのです。

私にとって人間とは「わかつた」なんて簡単にいえないもの。しかも、私自身すら、自分で望んで生まれたのではないのです。しかし、よくぞ、人間に生まれた。と、何かいえないのです。そんな自分なんです。

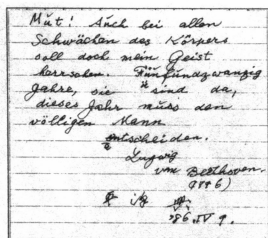
真剣になって徹底的に学べば自分の及ばない世界を知りませぬ。そしてその不思議な営みに自然に頭が下がります。いえ、下げざるを得ないのです。簡単に「わかつた」なんていうのは本当はわかっていないからです。五十兆の調和があるから健康が保たれている、こうして話すのにも三十数億年の歴史があるなんて奇跡ですね。

無限の可能性を与えられていること

天才は生まれた後の努力だ

大脳皮質には四百十億もの神経細胞が生まれた時からあります。ところがよく使った人でもその四十分の一程度です。つまり誰もが天才になれる可能性がある。ある、というのです。この素質を使わない、あるいは自分を出さない、なんていうのは自分に対する罵倒ですね。人間として生まれたとは、考える力、深い精神力を与えられて、苦難を乗り越えるということなのです。

しかし、先生のような立派な人になかなかないと思いませんか？ 私に、大学へ入った時決心していた事



がありました。それは点数を離れて本物の学問をしたいということです。ノートにしても、授業だけでなく、原典などにあたって自分で学んだノートにしたかったのです。

ところが、思うように学問ができず、二十才の時とうとう不眠症になって郷里の新潟に帰ってしまいました。ベートーヴェンは耳が不自由だった。ぼんやり雪の野原をさまい歩いていて、私の耳に突然、ベートーヴェンの声がかんじえた。彼は二十五才の時です。すでに耳が不自由だったんですね。音楽家として絶望の淵にあつては彼はお、自らを励まし、それを言葉にし、残していましたが、その言葉が私の耳に響いて来たのです。

「勇気が大切なんだ。たとえ肉体に欠点あろうとも、我が魂はこれに打ち勝たねばならぬ。二十五才になつた今、今こそ、立派な男にならねばならぬ。と誓っています。大いに勇まされました。」

京都、帰った私はそれから綿密な計画を立て、午前二時に起床して勉強することにした。私にとってこの時代は、学べば学ばばわからないことばかりで不安な時代でした。ただ、本物の学問を目指すには、いかに決心していましたね。



人生は苦にあらず

「それでも先生のように難しいです。人間には型があります。思考力にも型があります。回転の早い型もあれば、遅い型もあります。私はけつて早くありません。何をやるにも不器用です。ただ、物事を深く考える型です。しかし、これも努力でそうしたいとします。」

私の経歴を見て（二十四才で京大助教、二十九才で新潟医大教授、私のごとを早い人という方がありますが、助教になる時は再三その任でないと断わり、最後は命令でした。思節は僕のまさかさない事を認めてくれたと思つています。研究にしても多少とも成果があったといえるのは十年以上も費しましたね。私の教室ではわからないことを徹底して研究するようにしています。」



宗教家についていかがですか。信仰は信順といいますが、ただ形だけではだめだと思つています。人生は苦ともいいますが、それは乗り越

越えなければなりません。乗り越えれば苦ではなく、ただそのありがたさに自然と感謝するものです。宗教も教育も同じだと思いますが、「情熱」と「馬力」がなければだめです。たとえ自分の及ばないことを知っているでも、生き生として、その人と居るだけで自然に「馬力」が湧いてくるような人。それには「実行」です。自分で決めたことは死んでもというような「情熱」がなければならぬと思つています。相師達も幾多の困難を乗り越えたのです。

お話しを伺いながら何度も宗教の話と同じだと感じました。「せつかく生まれきたのじけなきが、有難業に遇へばなきて何の人生」との言葉。本物の人生を歩まれた方にはあやしいように思いました。

旅費 288,000円(東京発着)
298,000円(大阪発着) 全食事付、添乗員同行

大本山永平寺貫首 丹羽廉芳禪師陛下 御巡錫
第8回 禪文化学林

スリランカ仏教遺跡研修の旅

期日 昭和62年1月26日(月)～2月5日(木) 11日間

→ 禪文化学林開催のご案内 →

全曹青設立以来開催して参りました禪文化学林も、今年で第八回を数えることになりました。

前回は釈尊降誕を現代風に脚色した「南こうせつと花まつり」を実施し、大衆教化の接点を身近なものとし成果を収めました。が、本年は海外スリランカに学林の道場を設定し、青年宗侶の研修に重点を置いた企画を行いました。

研修の地となるスリランカは、僧侶を中心として仏教が民衆の生活に根を下ろし、初代仏教の純度の最も良く保たれた平安の地であります。

私たちは、ブッダへの熱烈な信仰に生き抜くスリランカ仏教界の実践と誇りを垣間見ながら、仏教の原点を改めて認識することを研修のテーマとしたいと思います。

特に今研修には、大本山永平寺貫首丹

羽廉芳禪師陛下の格別のご慈慮により、現地へのご同行を賜れる大勝縁にあずかり、スリランカ事情に最も精通した現下のスリランカ仏教との交流を図り、親善を深めることとなる今学林の内容は、必ずや満足の頂けるものになるものと確信致しております。

本会創設以来初めて、貫首陛下の御巡錫を賜れる難値難遇の禪文化学林に、多数ご参加下さいませようご案内申し上げます。

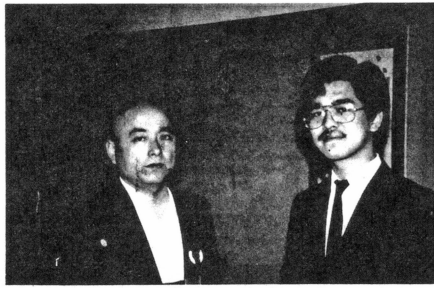
◆ 研修主催 ◆ 全国曹洞宗青年会
◆ 後援 ◆ 曹洞宗事務局 大本山永平寺 大本山総持寺
◆ 協賛 ◆ 日本スリランカ仏教友好協会 エアファンク航空

日程	月日(曜)	発着地名	時刻	交通機関	機	要
1	1月26日(月)	大 東 京 発 コ ロ ン ボ 着	14:10 21:15	午前 UL-453	午前、大阪を出発、東京へ。 12:00成田空港集合。 精進式後、空港スリランカの首都コロンボへ。 着後、ホテルへ。(コロンボ泊)	
2	1月27日(火)	コ ロ ン ボ	終 日		終日、コロンボ市内観光 政)表敬訪問、現地仏教会との交流等。(コロンボ泊)	
3	1月28日(水)	コ ロ ン ボ 発 キ ャ ン デ ィ ー 着	09:00 12:00	特別バス	特別バスにてキャンディーへ。 午後、キャンディー市内観光。(仏蘭寺特別参拝、植物園等) 夜、キャンディアンダンス観覧 (キャンディー泊)	
4	1月29日(木)	キ ャ ン デ ィ ー 発 ア ム ラ ダ ブ ー ラ 着	13:00 17:00	特別バス	午前中、自由研修 午後、アマラダブーラへ。(アマラダブーラ泊)	
5	1月30日(金)	ア ム ラ ダ ブ ー ラ 発 ボ ロ ン ナ ル ワ 着	14:00 17:00	特別バス	午前中、アマラダブーラ観光。 (スリマハボデーツリー、イスラムニア寺院、ミヒンターレ等)午後、ボロンナルワへ。(ボロンナルワ泊)	
6	1月31日(土)	ボ ロ ン ナ ル ワ 発 シ ギ リ ア 着 ダ ン ブ ラ 着 ボ ロ ン ナ ル ワ 着	08:30 17:00	特別バス	終日、シギリアロック、ダンブラ、ボロンナルワ観光。 (ゾル・ヴィハハラ、ランカティラカ等) (ボロンナルワ泊)	
7	2月1日(日)	ボ ロ ン ナ ル ワ 発 キ ャ ン デ ィ ー 着 ヌ ワ ラ エ リ ア 着	08:00 15:00	特別バス	特別バスにてキャンディー経由、高原の保養地「ヌワラエリヤ」へ。 (紅茶園見学等)。(ヌワラエリヤ泊)	
8	2月2日(月)	ヌ ワ ラ エ リ ア 発 テ ィ ャ サ マ ラ 着	10:00 17:00	特別バス	特別バスにてツェラワキのブドゥルハガハラ見学後、ティッサマラマへ。 希望者は現地寺院にて体験宿泊予定 (ティッサマラマ泊)	
9	2月3日(火)	テ ィ ャ サ マ ラ 発 ヒ ッ カ ド ー ワ 着	09:00 15:00	特別バス	特別バスにてスリランカ南端海岸の遺跡を見学しながら、海岸リゾート「ヒッカドゥーフ」へ。(ヒッカドゥーフ泊)	
10	2月4日(水)	ヒ ッ カ ド ー ワ 発 コ ロ ン ボ 着	12:00 15:00 19:15	午前中、休業。 午後、空港へ。空港、帰国の途へ。 (機中泊)		
11	2月5日(木)	東 大 阪 着	08:40 午後		着後、通関手続きを終え、空港にて解散 午後、大阪着	

訪 問 地

- シギリア
- ボロンナルワ
- ダンブラ
- キャンディー
- コロンボ
- ヒッカドゥーフ
- ミヒンターレ
- アマラダブーラ

【問合せ】
全国曹洞宗青年会
東京都港区芝二丁目五丁目
曹洞宗事務局(内)
又は、曹洞宗青年会
ヒッコドゥーフへ



九州曹青 カレンダー売り上げ純益を曹洞宗ボランティア会に寄付

昨年、九州曹青(須川法昭会長)で作製したカレンダー(仏師・船井幸一師の写真集)は好評にて6,000部を完売した。

精算事務も終了し、純益が曹洞宗ボランティア会に寄付された。

(写真右は佐賀曹青会 向 隆光会長、左はボランティア会の吉川事務局次長 61. 5. 12 宗務庁にて)

事務局だよ

各委員会を開催
五月二十二日、二十三日
去る五月十二日の総会決定の年間行事等の実施細目を検討するため、総合企画・事業・組織・広報の委員会を合同で開催した。

禪の集い用カードを作製
昨年の「もったいないおぼけカード」に続き今年度もカードを作製し禪の集いに供していくことになった。内容は松崎戒禪老師の「がいこつ絵断」。開催地に宗務庁からの資料とともに配布される。

会員名簿をコンピュータに登録

各曹青から送られてきた名簿をもとに会員の台帳作りが本格化してきました。現在、会報・通知等の未着であるいは重複の地区が出てくるようであるが、九月をめどに解消できるものと考えています。その間、ご迷惑をおかけする地区もありませんが、何卒よろしくお願いたしました。特に、六十一年度の新規団体加入の曹青は一部に個人発送がいきなない恐れもあります。事務局あてにも発送いたしますので調整願います。

組織・広報委員会

実践仏事のすべてをここに集結

曹洞宗実践叢書 全十巻

●この叢書はここが一番知りたい
日常必要な事柄をすべて集録しました

●この叢書は法式・禅学・經典・詩偈・仏具
葬式辞典の実践仏事から布教まで

■造本・体裁
A5判・上製/特織布
特装金箔押/貼箱入
各巻平均400頁～500頁

■編集
曹洞宗実践叢書編集委員会
【発行人】株式会社 大蔵舎
〒424 静岡県占木市横砂本町17番7号
TEL (0543) 64 7834(代)